



平成24年11月作成

目次

- 履修カルテとは
- 入力時期
- 利用方法
 - 授業担当教員からの所見確認
 - 自己評価入力
 - 履修状況確認

履修カルテとは

教員免許状を取得するためには、教職に関する科目「教職実践演習」を4年次後期に履修をしなければなりません。(必修です。)

「教職実践演習」は、将来、教員になる上で、自分にとって何が課題であるかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補う授業になります。この授業を受けるためには、「履修カルテ」が必要になります。履修カルテは、みなさんの4年間の教員免許状取得に向けた自分の学習状況や必要な資質能力の指標に対しての自己評価を記録します。履修カルテを活用し、「教職実践演習」の授業を進めることとなりますので、入力がないと履修することができません。

- 内容・教職課程に関する科目の履修状況
- ・自己評価シート

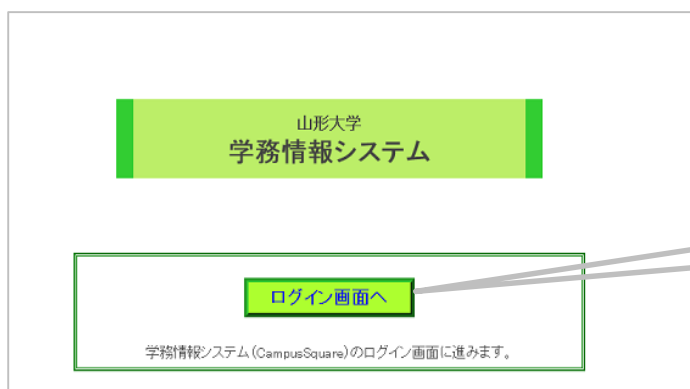
入力時期

- ・毎年度前期の履修登録時に入力します。
- 履修カルテは、校種ごと・教科ごとに入力する必要があります。
- 希望する免許状の変更は、必ず、学生センター各学部担当へ連絡してください。

利用方法

1.履修登録と同じ学務情報システムにログインします。

(<http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/gakunai/cs/>)



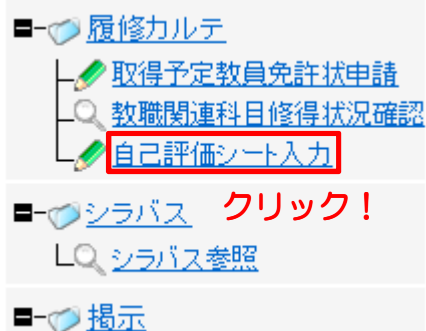
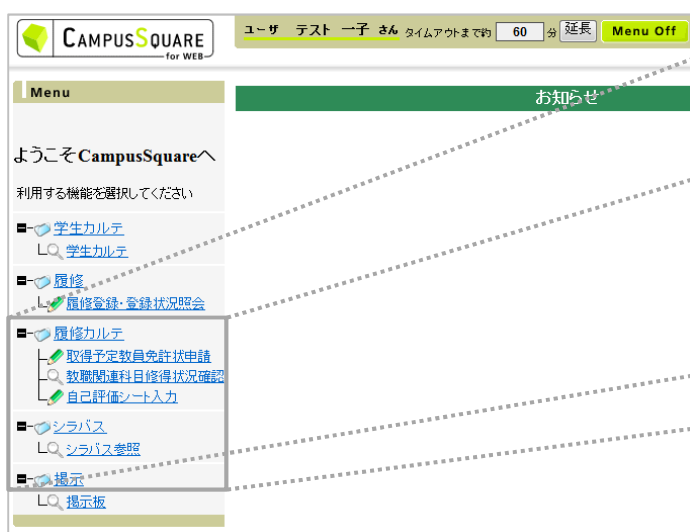
「ログイン画面へ」をクリックします。

2.ログインします。



ユーザ名、パスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。
※ユーザ名、パスワードは学務情報システムと同じものを使用してください。

3.履修カルテの自己評価シート入力画面へ



4.自己評価を入力する前に先生からの所見を確認します。

CAMPUS SQUARE
ユーザ テスト 一子 タムアツマヤ 59 延長
Menu Off Top Menu Password Logout

Menu

ようこそCampusSquareへ

利用する機能を選択してください

- 学生カルテ
- 履歴
- 履歴カルテ
- シラバス
- 提出

自己評価シート入力

所属 テスト学部テスト学科

学生番号 0300001 学生身分 学部学生

学生氏名 テスト 一子

カガ氏名 テスト イチコ

入学年月日 2010年4月1日 要件年度 2010年度

現況区分 在学

必要な資質能力について自己評価を入力してください。

1:とてもあてはまる 4:あてはまる 3:どちらともいえない 2:あてはまらない 1:まったくあてはまらない

区分1	区分2	科目	1118中教審審中との対応	自己評価
	児童生徒の理解	発達心理学、発達心理学	児童期・青年期の発達の特徴を知能・言語・社会性などの諸側面ごとに、適切な発達心理学用語を使って説明できる。 生徒の言動に対して、発達段階を踏まえてその言動の意味合いを複数考えることができる。 生徒の学習・発達の課題を理解して説明することができる。	2013年度
	教材・シラバスと授業の構成	教育課程編成(中・高)、教育実習指導(中・高)	各教科のカリキュラムについて、その特色や特徴を見出すことができる。 生徒の学習状況から、カリキュラムの評価を行う方法を知ることができる。	教科の指導力
	指導形態・方法	教育方法・技術(中・高)、教育工学(中・高)	生徒の興味に合った教材、指導方法を組み合わせ、授業づくりや教材づくり、授業に活用することができる。	教科の指導力
	学習評価	学習評価	学習能力の観点について理解する方法を知ることができる。 学習能力の相対評価を理解するための方法を理解できる。 学習能力の評価方法を活用できる。	教科の指導力
	人間関係形成	道徳教育実践指導(中・高)、生徒指導・進路指導(中・高)、教育相談(中・高)	生徒に対して、相互尊重の人間関係を築く態度を養うことができる。 生徒間のトラブルに対して、生徒同士がその問題を解決できるように助言的に指導する方法について説明することができる。	児童生徒理解や学級経営
	生徒の学習態度・学習意欲の向上	教育課程実践(中・高)、教育実習指導(中・高)	IT・AD等のITの活用による授業の改善や教材の活用による授業の改善を図ることができる。 生徒の興味や意欲を、適切な言葉で伝えることができる。	児童生徒理解や学級経営
	学習意欲	教育実習指導(中・高)、教育実習指導(中・高)	生徒の学習意欲や態度を、適切な言葉で伝えることができる。 生徒の学習意欲や態度を、適切な言葉で伝えることができる。	児童生徒理解や学級経営
	授業の自立と実践	教育実習指導(中・高)、教育実習指導(中・高)	生徒の学習意欲や態度を、適切な言葉で伝えることができる。 生徒の学習意欲や態度を、適切な言葉で伝えることができる。	児童生徒理解や学級経営
	対人関係とコミュニケーション	教育課程実践(中・高)、教育実習指導(中・高)	生徒の学習意欲や態度を、適切な言葉で伝えることができる。 生徒の学習意欲や態度を、適切な言葉で伝えることができる。	児童生徒理解や学級経営
	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間(中・高)	生徒の学習意欲や態度を、適切な言葉で伝えることができる。 生徒の学習意欲や態度を、適切な言葉で伝えることができる。	児童生徒理解や学級経営
	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間(中・高)	生徒の学習意欲や態度を、適切な言葉で伝えることができる。 生徒の学習意欲や態度を、適切な言葉で伝えることができる。	児童生徒理解や学級経営
	地域社会に根ざした教育実践	地域社会の教育実践	生徒の学習意欲や態度を、適切な言葉で伝えることができる。 生徒の学習意欲や態度を、適切な言葉で伝えることができる。	児童生徒理解や学級経営
	教科内容の理解	国語学概論A、国語学概論B、国語学概論C、国語学概論D、国語学概論E、国語学概論F、国語学概論G、国語学概論H、国語学概論I、国語学概論J、国語学概論K、国語学概論L、国語学概論M、国語学概論N、国語学概論O、国語学概論P、国語学概論Q、国語学概論R、国語学概論S、国語学概論T、国語学概論U、国語学概論V、国語学概論W、国語学概論X、国語学概論Y、国語学概論Z	教科の内容を専門的に説明できる。 教科の内容に関する生徒からの質問に的確に答えることができる。	教科の指導力
	授業の振り返り	国語科教育法A、国語科教育法B	教科の内容に関する生徒からの質問に的確に答えることができる。 教科の内容に関する生徒からの質問に的確に答えることができる。	教科の指導力
	教材の分析と開発	国語科教材研究A、国語科教材研究B	教科の内容に関する生徒からの質問に的確に答えることができる。 教科の内容に関する生徒からの質問に的確に答えることができる。	教科の指導力

指標

児童期・青年期の発達の特徴を知能・言語・社会性などの諸側面ごとに、適切な発達心理学用語を使って説明できる。

生徒の言動に対して、発達段階を踏まえてその言動の意味合いを複数考えることができる。

生徒の学習・発達の課題を理解して説明することができる。

※ 項目ごとに指標を確認することができます。

自己評価シート入力/関連科目成績参照

必要な資質能力の指標	
区分1	実践性「生きる力」を育成できる確かな「授業力」をもつ
区分2	児童生徒の理解
指標1	児童期・青年期の発達の特徴を知能・言語・社会性などの諸側面ごとに、適切な発達心理学用語を使って説明できる。
指標2	生徒の言動に対して、発達段階を踏まえてその言動の意味合いを複数考えることができる。
指標3	生徒の学習・発達の課題を理解して説明することができる。

関連する科目の修得状況は以下です。

科目名	単位数	評価	所見
発達心理学	2.0		
学習心理学	2.0		

閉じる

※ 区分2の項目をクリックするとの上のような画面が別ウィンドウで表示され、確認することができます。

Copyright© 2015-2017 N1 Software Corporation. All rights reserved.

5.自己評価を入力します。

必要の資質能力について自己評価を入力してください。
 5:とてもあてはまる 4:あてはまる 3:どちらともいえない 2:あてはまらない 1:まったくあてはまらない

区分1	区分2	科目	指標	H18中教審答申との対応	自己評価
			児童期・青年期の発達の特徴を知能・言語・社会性などの諸側面ごとに適切な発達心理学的用語を使って説明できる。	児童生徒理解や学級経営	
	児童生徒の理解	発達心理学、学習心理学	生徒の言動に対して、発達段階を踏まえてその言動の意味合いを複数考えることができる。	児童生徒理解や学級経営	
	教材・リムと授業の構想	教育課程編成論(中・高) 教育実践実習前・事後指導	教育課程の成り立ちや代表的な教育課程編成法の実践が理解できる。	教科の指導力	
	指導形態・方法	教育方法・技術(中・高) 教育工学(中・高)	各学校のカリキュラムについて、その特色や特徴を見出すことができる。	教科の指導力	
	学習評価	学習評価論	生徒の学習状況から、カリキュラムの評価を行う方法を説明できる。	教科の指導力	
	人間関係形成	発達教育実践指導論(中・高) 生徒指導・進路指導 教育相談(中・高)	発達期・青年期の発達の特徴を知能・言語・社会性などの諸側面ごとに、適切な発達心理学的用語を使って説明できる。	児童生徒理解や学級経営	
	生徒の児童生徒とのコミュニケーション	教育臨床実践(ふれあい) 教育臨床実践(教育ボランティア)	生徒の言動に対して、発達段階を踏まえてその言動の意味合いを複数考えることができる。	児童生徒理解や学級経営	
	学習経営	教育経営学 実践的学習研究(中・高)	生徒の学習・発達の課題を理解して説明することができる。	児童生徒理解や学級経営	
	教員の自立と使命	教育実践実習前・中・後 教育実践実習(中学校・高等学校)、 教育相談	理想とする教師像を明確に持てる。説明できる。	使命感や責任感、教育的愛情	
	対人関係とコミュニケーション	教育臨床実践(介護等体験)	挨拶や振舞、言葉遣いなど社会人としての素養を身に付けている。	使命感や責任感、教育的愛情	
	総合的な能力の育成	総合学習(男女共同参画社会と職業) 総合学習(地球環境と持続可能な開発) 総合学習(国際化と国際理解教育)	現代社会における学習の意義を認識し、課題を解決することができる。	社会性や対人関係能力	
	学校と地域の連携・協力	地域社会の教育計画 地域社会と人権教育 IT社会と情報教育、 コミュニティ学 地域社会の課題を解決するための取組に、主体的に参画できる。	地域社会の活性化の取組を説明できる。	社会性や対人関係能力	
	教科内容の理解	国語学概論Ⅰ、 国語学概論Ⅱ、 国語学概論Ⅲ、 国語学実習 国語学実習Ⅱ 国語学実習Ⅲ 国語学実習Ⅳ 国語学実習Ⅴ 国語学実習Ⅵ 国語学実習Ⅶ 国語学実習Ⅷ 国語学実習Ⅷ 国語学実習Ⅷ	教科の指導力		

5:とてもあてはまる 4:あてはまる 3:どちらともいえない 2:あてはまらない 1:まったくあてはまらない

区分1	区分2	科目	指標	H18中教審答申との対応	自己評価
			児童期・青年期の発達の特徴を知能・言語・社会性などの諸側面ごとに、適切な発達心理学的用語を使って説明できる。	児童生徒理解や学級経営	
	児童生徒の理解	発達心理学、 学習心理学	生徒の言動に対して、発達段階を踏まえてその言動の意味合いを複数考えることができる。	児童生徒理解や学級経営	
	学習経営	教育経営学 実践的学習研究(中・高)	生徒の学習・発達の課題を理解して説明することができる。	児童生徒理解や学級経営	

必要の資質能力の指標

2012年度

5
4
3
2
1

登録

①必要な資質能力の指標に対して、自己評価を入力します。

プルダウンで数字を選んで入力します。

- 5：とてもあてはまる
- 4：あてはまる
- 3：どちらともいえない
- 2：あてはまらない
- 1：まったくあてはまらない

②教職を目指す上で課題と考えている事項・教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況を記入してください。


教職を目指す上で課題と考えている事項があれば記入してください

教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況

登録

必ず、最後に登録ボタンをクリック

6.教職関連科目修得状況確認を一覧で見ることができます。



ユーザ テスト 一子 さん
タイムアウトまで約 60 分
延長

Menu

ようこそCampusSquareへ

利用する機能を選択してください

- 学生カルテ
 - 学生カルテ
- 履修
 - 履修登録・登録状況照会
- 履修カルテ
 - 取得予定教員免許状申請
 - 教職関連科目修得状況確認
 - 自己評価シート入力
- シラバス
 - シラバス

検索 教職関連科目修得状況確認／履修カルテ選択

所属	テスト学部テスト学科		
学生番号	03000001	学生身分	学部学生
学生氏名	テスト 一子		
カナ氏名	テスト イチコ		
入学年月日	2010年4月1日	要件年度	2010年度
現況区分	在学		

関連科目修得状況を確認する履修カルテを選択して、表示ボタンをクリックしてください

テスト学部履修カルテ
 テスト学部履修カルテ2

表示

①教職関連科目修得状況確認をクリックします。

②見たい方のカルテを選んで表示ボタンを押します。



ユーザ テスト 一子 さん
タイムアウトまで約 60 分
延長

Menu Off
Top Menu
Password
Logout

Menu

ようこそCampusSquareへ

利用する機能を選択してください

- 学生カルテ
 - 学生カルテ
- 履修
 - 履修登録・登録状況照会
- 履修カルテ
 - 取得予定教員免許状申請
 - 教職関連科目修得状況確認
 - 自己評価シート入力
- シラバス
 - シラバス参照
- 掲示
 - 掲示板

検索 教職関連科目修得状況確認／関連科目修得状況確認

所属	テスト学部テスト学科		
学生番号	03000001	学生身分	学部学生
学生氏名	テスト 一子		
カナ氏名	テスト イチコ		
入学年月日	2010年4月1日	要件年度	2010年度
現況区分	在学		

履修カルテ テスト学部履修カルテ

1. 教職関連科目の履修状況

区分1	区分2	区分3	H18中教審答申との対応	科目名	単位数	修得年度	教員名	評価	履修者の具体的な傾向・特徴
	児童生徒の理解		児童生徒理解や学級経営	発達心理学	2.0				
				学習心理学	2.0				
カリキュラムと授業の構想			教科の指導力	教育課程編成論(中・高)	2.0				
				教育実践実習事前事後指導	1.0				